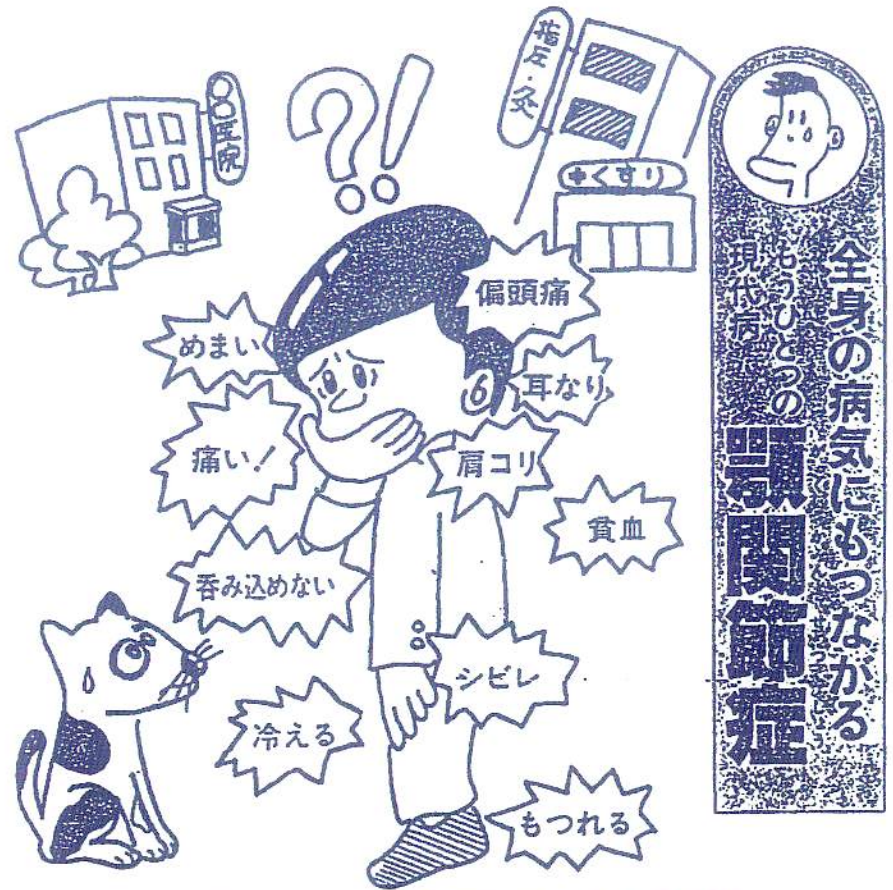
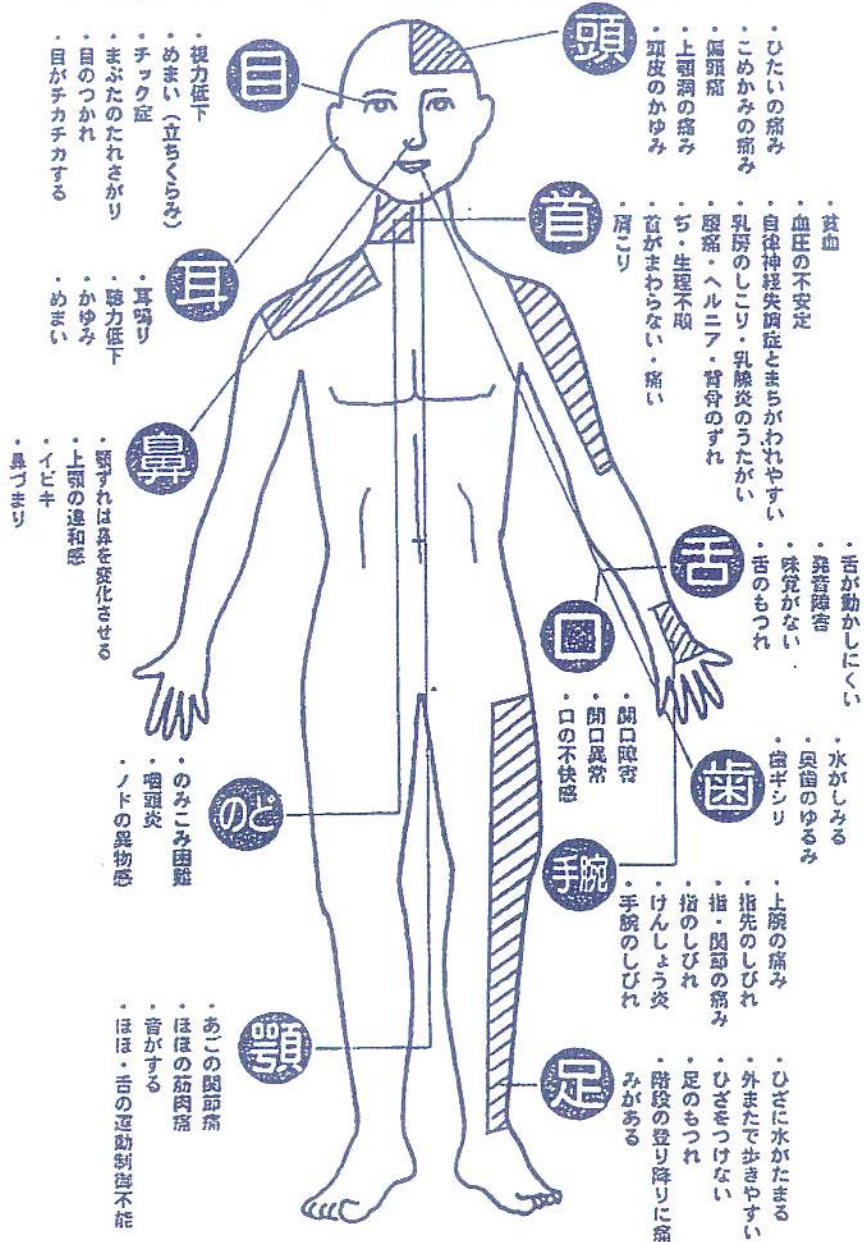


生体の「ゆがみ」で起こる症状



原因不明の肩コリや頭痛も顎関節症が原因!?

最近では、むし歯、歯周病、そして顎関節症が歯科の三大疾患と言われるようになってきました。口がちゃんと開けられない、顎が痛い、コツコツ音がするといった口や顎だけの症状に止まらず、全身に及びます。左のページでもご紹介した通りです。しかし、こういった症状は他の病気が原因したり、他の病気と複雑に関係していたりして、顎関節症と断定はしにくいものがあります。原因がつかめないこれらの症状を示す病気の、50%以上が顎関節症ではないかというデータも報告されています。

痛みは一ヶ所の事もあれば、顔↓後頭部↓首↓肩↓手↓足へと広い範囲に現われる場合もあります。ただ、顎関節症の場合の痛みは、鋭いものはあまりありません。治療法としては、主な原因である咬合を正しく整えること、顎を動かす筋肉を強くするために良く噛むことなどで、手術を必要とするほどの症例は、極まれだと言われています。